

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です

発行所 宮城県民主医療機関連合会  
 仙台市青葉区木町通1-8-18  
 〒980-0801 田村ビル5F  
 TEL 022-265-2601  
 FAX 022-263-8266  
 e-mail:dai@miyagi-min.com  
 発行人 坂田 匠  
 1日・15日 月2回発行 1部 50円

**ここが変だよ!! 消費税**  
**なぜ消費税だけ増税されるの?**  
 講師 田中史郎さん (宮城学院女子大学特任教授)  
 日時▶3月18日(木)10:30~12:00  
 会場▶フォレスト仙台 2階第1フォレストホール  
 参加費/無料(事前申し込みが必要です)  
 会場定員:50人 オンライン定員:100人  
 主催/消費税率引き上げをやめさせるネットワーク宮城  
 問合せ先/TEL:022(276)5162 FAX:022(276)5160

# みやぎ民医連

## 震災から10年 今考える事

東日本大震災復興  
 支援会議 責任者  
 矢崎 とも子



未曾有の東日本大震災から10年。「10年ひと昔」どころか「ついでこの間」が実感だ。確かに保育園児だった子ども達は驚くほどのスピードで中学生と高校生になった。避難所訪問チームの全国のメンバーにかわいがってもらい、家でも毛布をかぶって避難所ごっこをしていたのは、遠い昔のようだ。しかし、避難所から仮設、仮設から復興住宅へと転居を余儀なくされた被災者の生の声を聞いていると、10年の月日はまだまだ復興途上であると言わざるを得ない。6年に及ぶ訪問調査からは「快適な生活をしている」

「安心した老後をおくっている」といった声は聞かされていない。全国各地で様々な天災が未曾有といふレベルで立て続けにおき、自分達ばかりがいつまでも支援を受ける立場にない事は、被災者自身が十二分に自覚している。だからこそ、多くを望んでもいないし、不満や不安があっても現状を受け入れ静かに暮らしている。ただ同じ被災者なのに自力再建者と復興住宅入所者に厳然と存在する金銭的格差、10年という月日だけで調査も支援も打ち切ろうとする冷たい政治、そして何より今、最低限の生活すら維持できない状況に、悲鳴を上げざるを得ないのが、実情だ。

10年を前に2021年2月13日夜中に起きた地震は3・11の余震と言われる。あの時の様々な思いをよみがえらせるには十二分すぎる長く長い揺れであった。多くの職員が仮設病院に駆け付け、整然と任務に当たった。トリアージュブースだけでなく、床に散乱した本や書類を黙々と片付ける職員。院内を回り電気系統の確認をする職員。給食や薬品の在庫を確認する職員…。直接救命に携わらない多くの陰の働きに支えられていることを再認識させられた。幸い津波も停電も断水も重症者の搬入もなく、仮設病院の災害対策本部は3時間で解散した。

一方、他院では水道管破損でずぶ濡れになった患者さん、水をかぶって故障した医療機器、転倒し骨折した人、ガラスでけがした人、3・11を思い出し手にしたアルコーを一気にあおって搬入された人、家事で焼け出された人、消火による放水で水浸しになった家、その後の断水や交通渋滞で不自由な生活を余儀なくされた人達…。頻りに起こる余震の中で、我々はどこまで思いをはせられるだろうか。

遠く熊本や広島や千葉からのお見舞いの連絡に、いつの時も心にかけてくれる人がいる幸せを実感した。また、思いを繋ぐ仲間が全国にいる民医連の存在に、また元気に勇気をもらった。2011年3月13日避難者であふれかえる小学校で「着替えてもすぐ濡れてしまおう」と言う高齢者「津波に流されて化学薬品でやけどを負っていた。裸足にぬれた靴を履いた若者」は、津波に流され全身に傷を負っていた。一緒に車に乗っていた母は助手席で冷たくなっていったという。「後日定期外来に来た目を充血させた女性」は、津波に流されながら真つ黒な濁流に潜って娘を引き寄せた。どの人も自分からその体験を語ることはなかった。「地震や津波は大丈夫だ」と、昨日のことのように

夫だったか?」と、こちらから尋ねたから聞き出せたことだった。命が助かった人たちは、目の前で助からなかった命をたくさん見ていた。だからこそ、「命が助かっただけで十分。こんな怪我は我慢しなければ。」と思っていることを知った。今も時間を作っては海岸を歩き家族を探す人、海に花を手向ける人、毎月海へ潜る人、潜水する人に頭を下げながら祈り見守る人。10年経った今もそしてこれからもずっと、生まれ育った故郷に足跡を踏み入れることすらできない福島の人たち。一人一人にその日は今もありありと、まさきと、昨日のことのように残っている。張り裂けるような思いを重ね、10年という長い長い日々を、一日一日、やっとないで、生きてきた。

100人には1000の、1000人には10000の震災があり、思いがある。一人一人の3・11にいかにか寄り添い、共に歩んでいけるか。コロナ危機の今こそ、住民の健康を守り、地域を支える医療人として、民医連の職員一人一人の想像力と踏ん張り力が求められている。

安全性の確保も処理方法の確立もされていない原発の廃炉は、次の被災が起こる前の第一優先課題であり、今真つ先に取り組むべきと考える。

安全性の確保も処理方法の確立もされていない原発の廃炉は、次の被災が起こる前の第一優先課題であり、今真つ先に取り組むべきと考える。



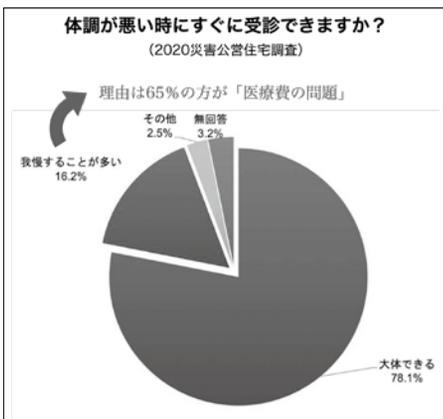
南三陸町での聞き取り訪問調査

10年を前に2021年2月13日夜中に起きた地震は3・11の余震と言われる。あの時の様々な思いをよみがえらせるには十二分すぎる長く長い揺れであった。多くの職員が仮設病院に駆け付け、整然と任務に当たった。トリアージュブースだけでなく、床に散乱した本や書類を黙々と片付ける職員。院内を回り電気系統の確認をする

### 災害公営住宅訪問調査結果

## 被災者への日常的な関わりと行政への働きかけを強めよう

宮城県民医連は、災害公営住宅の住民を対象とした生活健康調査を、2016年度から毎年行っています(2016年度は仮設住宅)。2020年度は、昨年度まで調査に回答いただいた連絡可能な704名を対象に郵送または訪問による調査を行い、369名から回答を得ることができました。このうち訪問調査には、職員、共同組織、医学生等延べ100名が参加しました。仮設病院、長町病院、泉病院、松島海岸診療所の診療圏にある災害公営住宅378軒を訪問して166人から聞き取りができました。



「眠れない」「気分が晴れない」「死にたいと思う」等、抑うつ傾向があると考えられる方は57%でした。

今後の心配は「病気」54%、「収入・生活費」47%、「家賃」42%が多く(複数回答)、この質問をとり始めて以降変わっていません。

困った時の相談相手が私たちが対象としている仙台市、塩竈市、多賀城市、東松島市、松島町、七ヶ浜町、利府町には、災害公営住宅が5491戸あり、5210世帯が入居しています(2020年12月末現在)。つなかりのある704名は全世帯の約14%にあたります。6年間の調査活動による貴重な到達であり、土台には、地域で健康といのちを守り続けている各事業所への住民の信頼があります。

東日本大震災から10年が経ちますが、被災者の健康状態も生活も、必ずしもよい方向に向かってはいません。私たちに調査活動によって実態を把握することと合わせて、診療圏内の災害公営住宅への日常的な関わりを強めることが求められています。また、宮城県は今年度で災害公営住宅の住民健康調査を打ち切ることを決めています。被災者の声を行政に届け、すべての被災者が安心して暮らせる社会となるよう行政に働きかけたいと思います。

(県連事務局長 坂田匠)

### 健康手帳

熊本で行われた第44回全日本民医連定期総会から1年が経ちました。総会には

熊本で行われた第44回全日本民医連定期総会から1年が経ちました。総会には新型コロナウイルスによる感染者も少しずつ出始めた中で万全の体制のもと開催され、私も緊張感を持って参加しました。▼第44回総会スローガンとして①綱領改定10年のあゆみを確信に「医療・介護活動の2つの柱」を深化させ、医師確保と経営改善で必ず前進を②共同組織とともに地域の福祉力を育み、人権としての社保活動を旺盛にすすめる、健康格差にタックルしよう③共同の力で、安倍政権による9条改悪ストップ!核兵器廃絶、地球環境保全運動の飛躍をの3つが掲げられました。

▼民医連としての取り組みを強めていこうと一致団結したものの、その後の1年は新型コロナウイルスの感染拡大によりこれまでに経験したことのない1年を過ごしてきました。

▼安倍総理の辞任、菅内閣の発足もありました。この1年の間に総会スローガンを振り返り、我々の取り組みがどうだったのか振り返る余裕もなく過ごしてきたと思います。ひとりの行動や生活スタイルの見直しが必要になった今だからこそ、総会スローガンを振り返り自分たちに何ができるのか考える機会にしましょう。

# 介護事業所アンケート調査結果を発表 コロナ禍で深刻な実態が明らかに

県連事務局 高橋啓介



1月27日県政記者室にて、県連介護福祉部による記者会見を行いました。会見には、大内誠部長(宮城厚生福祉会)、土谷ちはる氏(田子のまち)、前口真由美氏(CSあゆみ)、野川ちひろ氏(宮城厚生協会)ほか計8名が臨みました。

介護福祉部では、2020年11月から12月にかけて、新型コロナウイルス感染症による影響の実態を調査し今後の課題を明らかにするため、宮城県内の全介護事業所を対象にアンケート調査を実施しました。62施設98事業所から回答があり、その結果から深刻な実態が

明らかにになりました。大内部長からアンケートの結果を報告。2020年度上半期と前年同期との収入比では、32%の事業所が減収。かき増し経費(感染対策に必要な費用)を公的に補助する制度は、40%が「不足」。利用者に関する職員に支給された慰労金についても、「苦勞に見合わない」が76%、自治体からの支給物資について「今後も支給してほしい」が79%となりました。減収の公費補填については89%が賛同、感染対策費を介護報酬に上乗せする(「利用者負担が増加する」)特例引き上げ措置について

野川氏からは、国から支給される慰労金について、一定期間の勤務のみが対象であることや、コロナ発生の有無で金額が違ふことを指摘。現場は発生の有無に関わらず努力しており、そこを評価してほしいと訴えました。上記の結果を踏まえた上で、宮城県民医連として以下の要望を発表しました。

1. 全ての介護事業所への減収額の、公費による補填を求めます。
2. 新型コロナウイルス感染症対策は、公費による施策を求めます。

「公費で負担すべき」に66%が賛同しました。土谷氏、前口氏からは現場の大変な状況を報告。コロナ禍でボランティア受け入れがストップし行事やまつりなども行なえず、利用者さんは家族との面会も制限され、生活から潤い・彩りが失われていること。職員は「コロナを持ち込むのは自分たちだ」という計り知れないプレッシャーの中、感染対策の徹底、様々な自粛を行なっており、コロナの長期化によるメンタル面・モチベーションが心配であること。地域の介護事業所のコロナに対する過度な反応から、入浴サービスが受けられず皮膚状態が悪化した事例など。



オンラインでの講演

真も映し出さず、日本の状況として、2月に熱帯魚が泳いでいる(神奈川県)

## 核兵器禁止条約発効

### 平和と環境を優先する 社会への転換を求めよう

核兵器禁止条約が発効された1月22日、仙台福

難な物資は、継続的な支給を求めます。さらに、この状況が続けば介護職離れ、さらには事業継続の困難が懸念され、以下の施策も提言しました。

4. 介護事業を継続させるために、介護職員の処遇改善・コロナ禍での介護現場を支える社会的な仕組みなど、介

護人材の定着を図る総合的な施策を求めます。5. 感染発生前から、感染発生時における人的支援・物資支援の仕組みについて全ての事業所と共有し、事業継続計画(BCCP)作成への支援を求めます。今後、自治体などの関係機関への申し入れなども検討していきます。

奈川)、北海道でのコンブの森が磯焼け、10年前の海藻の森が今は一本も生えていない海の砂漠化、生物がみられない海など、写真でまざまざとみせられました。気候変動はこの間の経済活動によるCO2が原因であり、「早く脱炭素化社会を。そのためのパリ協定の行使を」と訴えました。

平和を維持し、気候危機に立ち向かうために当たり前のことを望んでいくこと、個人の努力だけでなく、平和と環境を優先する政策を支持する社会の転換が必要と話されました。政治でも経済が



(記事 伊藤節子)

Zoomを使って自宅での会議や集会、研修に参加できるようになり、

出不精の私にとつては参加のハードルが低くなりました。でも巣こもりも度が過ぎるとウズウズ。自粛疲れ症状も出始めています。早くコロナ禍落ち着きますように。

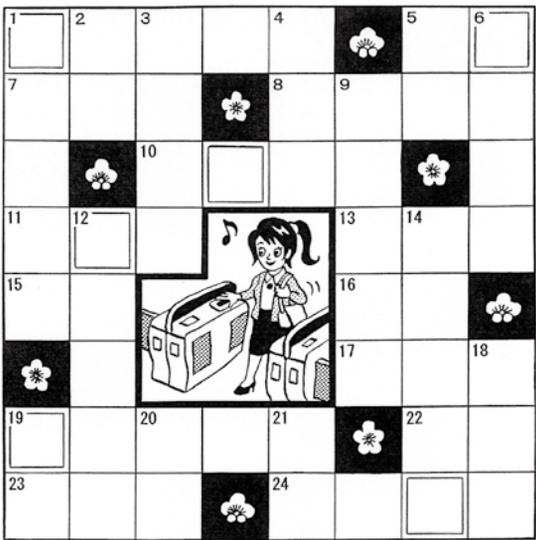
乳銀杏保育園 保育士 三川孝子

先日、長男の中学入学説明会に行ってきた。今年の中学1年生は人数が多いようで、1学年なんと「ブクラス」だと聞いてビックリしました。私は田舎の中学校だったので「クラス」しかなかった。すごいな〜と思いました。部活の種類が多さにこれまたビックリ。楽しい中学校生活を送ってほしいものです。

ケアステーションあゆみ 理学療法士 加藤千恵子



《解き方》イラストをヒントにして、二重ワクの6文字をうまく並べてできる言葉は？ (作・モロズミ勝)



1110 この色ともいいます 家庭で使う電気器具

2423221917161513 湖のほとりです 原子番号79 町や村があります 模型や模範という意味 商品に名前をつけること ...メールとは電子メール その国の代表的な競技 重量です

9 6 巻積雲の俗称です

1412 首都はコペンハーゲン 持ち運びやすく、便利で す。...タイプ 道筋。頂上への... NHKBS放送の人気番組 「岩倉光昭の世界...歩き」 信用・信頼している部下を ...うっています。...腕 待...厚...、不...

クイズの解答は事業所名、氏名、職種を記し県連事務局に送ってください。メールは不可。ファックスは可。正解者に抽選で5人に図書カードを進呈いたします。余白に日頃考えている事などを書き添えて下さい。『声』の欄に掲載させていただきます。『声』の欄に掲載させていただきます。応募資格：臨時・パート含む県連職員。締切4月2日(当日消印有効)。発表4月15日号。1月1日号答え①左奥の柱の幅。②左から3人目の人が持つカードの枚数。③奥のやかんの湯気。④左から4人目の人の耳。⑤右端の人の左手。⑥テレビの横の置物。⑦テレビ台の取っ手。応募総数19件。当選者：鈴木由香里/坂総合クリニック、稲田由美子/泉病院、小林千寿子/有料老人ホームはなみずき、阿部成美/つばさ薬局多賀城店、大賀直純/県連事務局。1月15日号答え「カイロジョ」(街路樹)。応募総数17件。当選者：吉岡文/泉病院、佐藤ひとみ/ケアステーションよしおかせ伊原えみ/ケアステーションよしおかせ、遠藤直樹/松島海浜診療所歯科、芳賀明子/南光台地域包括センター(敬称省略)